

科目名 (英)	医療的ケア (Medical Care)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員
学科・コース	介護福祉士科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60	開講区分 曜日・時限
						前期・後期 月曜2時限目
【授業の学習内容】						
<p>医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術が修得できる。</p> <p>関連する法制度や倫理、関連職種の役割、救急蘇生法、感染予防、健康状態の把握など介護福祉士として医療的ケアを実施するに際し、その前提となる基礎的知識を学んだ後、喀痰吸引および経管栄養について必要な人体の構造と機能、小児の吸引、急変状態への対応など実施に必要な基礎的知識と実地手順が修得できる。</p> <p>※実務者経験:医療機関に所属していた。主業務は内科及び整形外科部門を担当していた。※取得資格:看護師</p>						
【到達目標】						
利用者の安全を踏まえたうえで、喀痰吸引および経管栄養について介護福祉士が医療的ケアを実施する際の知識を修得することができる。						

授業計画・内容	
1回目	「人間と社会」…個人の尊厳と自立、医療の倫理、利用者や家族の気持ちを理解する視点が理解できる。
2回目	「保健医療制度とチーム制度」…保健医療に関する制度、医療行為に関する法律などが理解できる。
3回目	「保健医療制度とチーム制度/安全な療養生活」…チーム医療と介護職員との連携、喀痰吸引や経管栄養の安全な実施方法について理解できる。
4回目	「安全な療養生活①」…喀痰吸引や経管栄養の安全な実施について理解できる。
5回目	「安全な療養生活②」…救急蘇生法について理解できる。
6回目	「清潔保持と感染予防①」…感染予防、職員の感染予防、療養環境の清潔、消毒法等について理解できる。
7回目	「清潔保持と感染予防②」…医療的ケア実施に必要な滅菌と消毒の知識について理解できる。
8回目	「健康状態の把握②」…身体・精神の健康について、健康状態を知る項目(バイタルサイン)の知識について理解できる。
9回目	「健康状態の把握③」…対象者の急変状態の見極めについて理解できる。
10回目	「高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論①」…呼吸のしくみと働きについて理解できる。
11回目	「高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論②」…いつもと違う呼吸の見極め方について理解できる。
12回目	「高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論③」…喀痰吸引の概要について理解できる。
13回目	「高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論④」…人工呼吸器と吸引/子供の吸引法について理解できる。
14回目	「高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論⑤」…利用者や家族の気持ちの理解と対応方法、説明と同意の重要性、呼吸器系の感染予防について理解できる。
15回目	「高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論⑥」…喀痰吸引に生じる危険、事後の安全確認の手順と方法について理解できる。
16回目	「高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論⑦」…急変・事故発生時の対応と事前対策(リスクマネジメント)について理解できる。
17回目	「高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論⑧」…喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持について理解できる。
18回目	「高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説①」…喀痰吸引の技術と留意点について理解できる。
19回目	「高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説②」…喀痰吸引の技術と留意点について理解できる。
20回目	「高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説③」…喀痰吸引に伴うケアについて理解できる。
21回目	「高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説④」…報告及び記録(他職種)について理解できる。
22回目	「高齢者および障害児・者の経管栄養概論①」…消化器系のしくみとはたらきについて、消化・吸収とよくある消化器疾患の症状について理解できる。
23回目	「高齢者および障害児・者の経管栄養概論②」…経管栄養とは/注入に際して必要な知識について理解できる。
24回目	「高齢者および障害児・者の経管栄養概論③」…経管栄養実施上の留意点/乳幼児・児童の経管栄養について理解できる。
25回目	「高齢者および障害児・者の経管栄養概論④」…経管栄養に関係する感染と予防/経管栄養を受ける利用者や家族の気持ち等について理解できる。
26回目	「高齢者および障害児・者の経管栄養概論⑤」…経管栄養により生じるリスクと注入後の安全確認について理解できる。

27回目	「高齢者および障害児・者の経管栄養概論⑥」…急変・事故発生時の対応と事前対策について理解できる。
28回目	「高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説①」…経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持のついて理解できる。
29回目	「高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説②」…経管栄養の技術と留意点について理解できる。
30回目	「高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説③」…経管栄養に必要なケア/報告および記録方法について理解できる。
準備学習 時間外学習	準備学習…授業に臨むにあたって、教科書の内容を熟読しておく必要があります。 時間外学習(復習)…各単元の講義後に確認テストを実施します。講義の復習が必要です。
評価方法	成績の評価は、「試験」の点数で100点満点とする。「試験」には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験の評価などが含まれる。 ※演習はチェック表による確認により各項目5回以上の合格が必要となる。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
教科書：新・介護福祉士養成講座⑮「医療的ケア」（中央法規出版）	